

新たな希望を生み出し、ロータリーを楽しもう

2月の月間 平和構築と紛争予防月間

本日の例会プログラム 第2182回例会 令和6年2月19日

- ・国際奉仕委員会 卓話 高瀬俊彦 委員長
- ・会員卓話 大田寛子 会員

会長挨拶

井上竜志会長



みなさん、こんにちは。昨日はインターシティミーティングがシーガイアにて開催されました。参加されました皆さんお疲れさまでした。「米山奨学会を深く理解し、平和と親善の輪を広げよう」というテーマでした。長嶺ガバナー補佐から、まず米山奨学のことについてのお話がありました。米山奨学には精通されているだけあってわかりやすく、難しいことを簡単に説明して頂きました。その後、米山奨学生だったお二方のお話がありました。

おひとり目は、奨学期間では、鹿児島大学の所属で鹿児島南RCが世話クラブをしていて、現在はインドネシアで医師をしているかたでした。英語でのスピーチで字幕についていけなかったのですが、子供のうつ病や拒食症などのメンタルヘルスの研究についてのスピーチでしたが、話の終わりに日本の文化が忘れられなく、子どもたちの名前を日本名にしたり、着物をきて和室のようなスタジオで家族の記念写真を撮ったりと、奨学期間は良かったです、と、話されました。

おふたり目は、スリランカの僧侶のかたです。米山親善大使をされている方で、NPOでオンライン授業を通じて、子供たちに教育をしている、というお話でした。

そこで、お二人とも、奨学生として日本にきて人生が変わりました。ということに、とても感銘を受けました。この今、偶然にもやってきた留学生が1～2年ロータリーとつながりをもって、心を動かされ、自国に帰っても、日本でのロータリーのことを忘れずに、ましてや、そ

出席委員会報告

井野元孝洋委員長

●出席状況

本日状況		前々回修正出席状況	
会員数	(52)55名	メイクアップ数	0名
本日欠席者数	19名	修正出席率	69.81%
本日出席者数	36名	メイクアップされた方(敬称略)	
出席率	69.23%		
ニコニコBOX	2件 累計 181,000円	募金箱	6,289円 累計 118,644円

ここで学んだ奉仕の心でいま、自国で奉仕をしているということを知り、素晴らしいことだと思いました。

米山奨学会といつも耳にしたり、聞いたりしていますが、みなさん達の寄付によって、留学生たちの人生が変化し、その留学生たちが世界が変えていき、平和な世界ができるのかなと感じました。

ぜひ、少しでも寄付を継続していただき、米山奨学会にも興味を持っていただき、世界に平和が訪れることを祈念したいと思います。

今日は、よろしくお祈りいたします。

幹事報告

村野 裕幹事



- ・国際ロータリー為替レート
1ドル=147円
- ・日南ロータリークラブ創立70周年記念事業のご案内

下記のご案内が届いております。

令和6年6月15日(土)ホテルシーズン日南にて
17:00～記念式典 18:30～祝賀会

- ・川内ロータリークラブ創立70周年記念講演会のご案内

下記のご案内が届いております。

令和6年2月17日(土)薩摩川内市国際交流センターにて

16:00開演

ニコニコBOX



戸高勝利会員

2月4日に開催されましたインターシティーミーティング（IM）へ多数の参加を頂きありがとうございました。

来年は当クラブがホストクラブになりますので宜しくお願い致します。



安藤茂洋会員

社労士会セミナーの周知をさせていただきます。

●結婚月

安川 潔会員、戸高勝利会員、黒田福太郎会員
笹栗 康会員、森 英典会員、増田拓朗会員



●誕生月

中原捷博会員、大浦秀幸会員、中川英治会員
黒田福太郎会員、高坂英文会員



会員卓話

私のロータリー

中原捷博会員



私は50代前半に南ロータリークラブに入会したのでもうそろそろ30有余年在籍している。上から数えて3～4番目である。

入会当時の例会場はホテルプラザで、会員数が70名位だったと思う。地下にあった宴会場で夜間の懇親会があった時などは端っこの人は分らないぐらいで宮交関係の人だけでも5～6人いたと思う。在籍が永いわりにはあんまりロータリーの勉強はしていない。何故かという私のそばにはいつもパストガバナーの大迫三郎さんがおられたので“いざという時には尋ねればいい”と思っていたからである。

私も当時は若く同世代の仲良しが7～8人いてゴルフやニシタチでの夜の交友やらで楽しい日々だった。

南旅行会という会の名で毎年秋には夫婦同伴で旅行をし、幹事を安川君の父君の茂さんがつとめて、佐渡ヶ島を皮切りに東北、北海道を2泊3日で旅したものだ。

今話題の『輪島』『能登』や『利尻』『礼文島』『知床』等『北海道』へも数回行ったものである。あれから幾十年、仲間だった安川、橋口、梅田、寿香器の長友、浅草衣粧の甲斐さん等半数の人がもう鬼籍に入られた。私にとって南ロータリークラブは人生後半のよき伴侶を得た、かけがえのないものである。現在も楽しい仲間がいるので、もう少しせめて50周年までは頑張るつもりでいる今日此頃である。

国際奉仕委員会

高瀬俊彦委員長



エコキャップの回収のお願いです。年度初めにお願い致しましたが、再度のお願いとなります。

エコキャップは、ポリオワクチンを買う為に使われます。

因みにこのエコキャップ860個分で一人分のワクチンになるそうで、その一人分のワクチンは8000円から10000円で取り扱われているそうです。そうしますとこのエコキャップは一個10円相当になります。どうぞ回収にご協力お願い致します。



Guy Gundakerに学ぶ
(1923~1924RI会長)

● Guy Gundaker が考える「ロータリーの姿」

ロータリーとは、

- ロータリークラブにおいては「親睦と学びの場」であり、
 - ロータリアンにおいては「人間性の向上」をもたらすものであり
 - 仕事においては「事業と業界の発展向上」に繋げるべきものであり、
 - 世間においては「世の中を良くしていく向上運動」であり、
 - 究極の目的は「素晴らしい真のロータリアン」を育て、支援し、増やすこと
(Evolution of Members of Rotary Clubs into Real Rotarians)
- である。

● Guy Gundaker が考える「ロータリーのクラブ運営」

ロータリークラブは、

- 選ばれた多様なリーダーが集い、「親睦、学び、成長、奉仕」を主体とした
- 魅力的で価値あるクラブ運営が行われなくてはならない (**Grow Rotarians & Enjoy Rotary**)。そうやって、ロータリークラブが「素晴らしい真のロータリアン」を育て、支援し、増やしていけばこそ、世の中は良くなり、ロータリーが発展していくのである (**Grow Rotary**)。

● 素晴らしい真のロータリアン

“素晴らしい真のロータリアン”とは、「ロータリーの理想」に励む人である。(→ P45 参照)
そのためには、

- 親睦と学びの場である例会に必ず出席し、
- ロータリーの歴史や伝統、価値や奉仕理念を学び、
- 職業観や人生観を深め、奉仕の意欲を高め、奉仕の心を磨き、
- 事業、業界、地域、社会に対する見識を広めるとともに、それらの向上発展に努め、
- 何より寛容な心でロータリーの志を共にする者同士の仲間意識を高め合いながら、
- 自らの使命として世の中に貢献していく高潔なロータリアンでなければならない。

【2】ロータリーの親睦 ~~~~~

“Guy Gundaker のロータリー観”を学ぶには、「親睦 (fellowship)」に対する理解が重要です。Guy は、
“ロータリアンは、「親睦」と「学び」と「奉仕」に邁進しよう。”

と強調しています。「親睦」は、「学び」と「奉仕」と同列に扱われるほど重要視されているのです。

その一方、Guy Gundaker は、クラブや会員の現状における問題点として、この「親睦」を挙げています。

すなわち、会員同士の親睦を重視するあまり、「ロータリーの良き親睦こそがロータリーの全てである」という間違った考えを持つロータリアンが少なくないことを問題視したのです。

● ロータリーの親睦 (fellowship) の『意味』

Guy Gundaker の「親睦 (fellowship)」に対する考え方は、
“ロータリーという苗木が成長するために、その根に栄養を
与えてくれる土壌が「ロータリーの親睦」である。”

というものです。

言い換えれば、

“ロータリーでは、「親睦」は必要で重要だが、目的ではない。”

ということです。なぜなら、あくまで「ロータリーという苗木の成長 (Grow Rotary)」が目的だからです。

「ロータリーの親睦」を正しく理解するためには、もう1つ留意すべきことがあります。すなわち、日本語の「親睦」は、通常、英語の「friendship」という意味で使われていますが、

ロータリーにおける「親睦」は、英語の「fellowship」の訳語である

ということです。つまり、ロータリーの「親睦」は「friendship」ではなく、「fellowship」なのです。

その上で、我々ロータリアンは、交友の度合いや内容を示す3つの言葉、

“acquaintance” と “friendship” と “fellowship”

の違いを知っておかなくてはなりません。



- “acquaintance” = 「知り合い程度の交友」 (slight friendship with someone)
- “friendship” = 「親しい者同士の交友 (友情)」
(目的や理念には関係なく、親しい友人の間柄で使われる言葉)
- “fellowship” = 「志が同じ者同士の交友 (仲間意識)」
(チームや組織、団体など、目的や理念が同じ者同士の間柄で使われる言葉)

上記を読めば分かるように、ロータリークラブは「同じ目的と理念を持つ組織」ですから、その会員であるロータリアン同士の間柄は、“acquaintance” や “friendship” ではなく、“fellowship” であることは明白です。すなわち、

「ロータリーの親睦 (fellowship) とは、ロータリーの志を共にする者同士の仲間意識」
なのです。

したがって、Guy Gundaker の「ロータリーの親睦」に対する考え方は、

“ロータリーという苗木が立派に成長していくためには、

ロータリーの志を共にする者同士の仲間意識を高め合う「親睦」という土壌が必要である。”

というように理解すればよいでしょう。



● 宮崎南ロータリークラブ ●

事務局 〒880-0806 宮崎市広島1丁目3-3 秀豊ビル4階
TEL. 0985-22-6767 FAX. 0985-22-9170
HP : <http://mm-rc.sakura.ne.jp/> e-mail : m.m-rc@alto.ocn.ne.jp

例会場 宮崎観光ホテル(毎週月曜日 12:30~13:30 開催)
〒880-8512 宮崎市松山1-1-1
TEL. 0985-27-1212